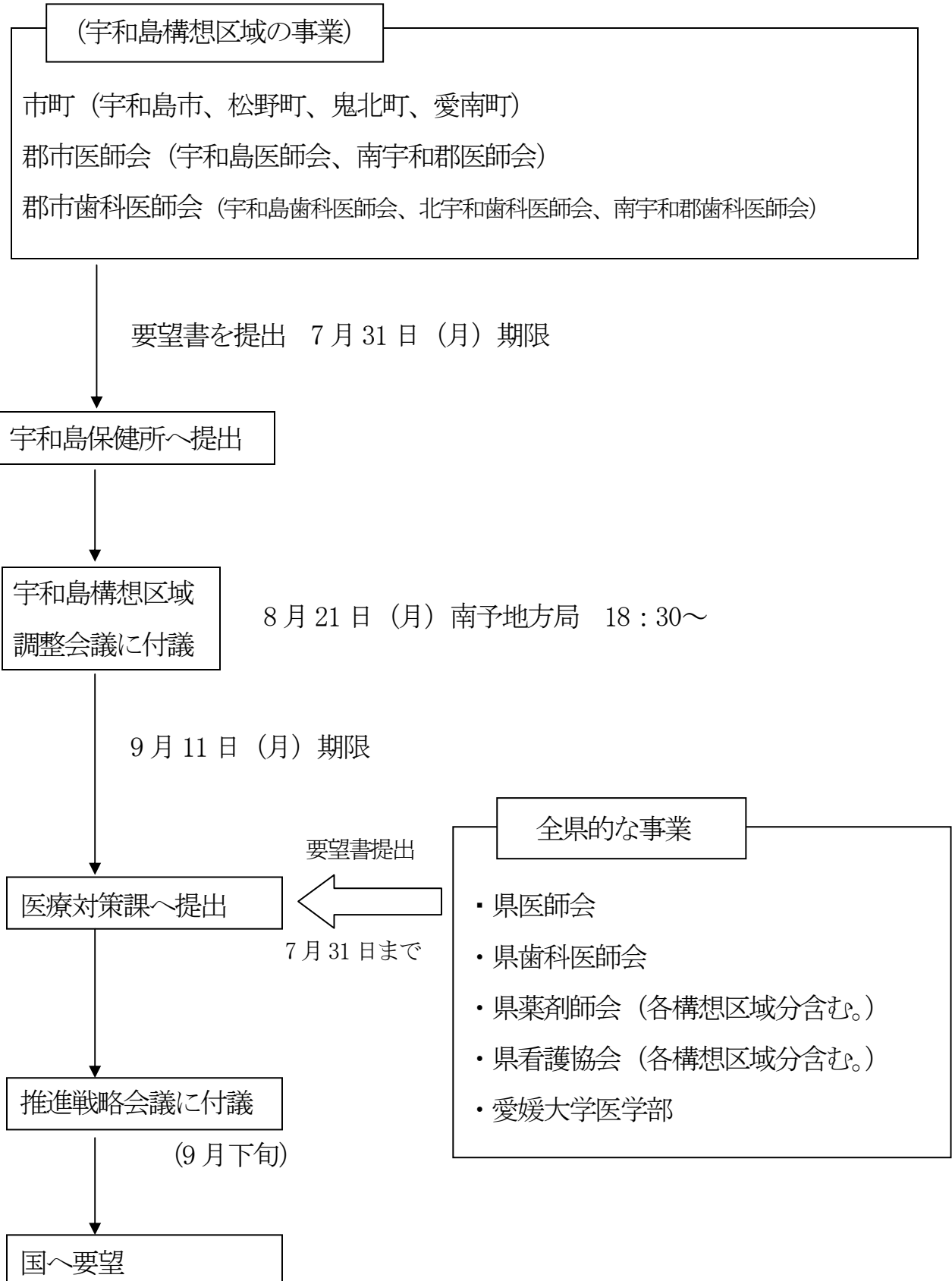


1 平成30年度地域医療介護総合確保基金（医療分）事業について

(1) 地域医療介護総合確保基金事業（30年度分）スケジュール



(2) 平成30年度宇和島構想区域地域医療介護総合確保基金要望事業一覧(案)

| 優先順位 | 事業名 | 実施主体(要望者) | 事業費 | 事業期間 | 関連性 | 有効性 | 妥当性 | 緊急性 | 新規性 | 実行性 | 合計 | 事業区分 | 事業例番号 |
|------|------------------------------|-----------|--------|------|--|---|--|---|-------------------------------|------------------------------|-----|------|-------|
| | | | | | 地域医療構想に位置付けられている事業か。将来の医療提供体制における役割はどうか。 | 地域医療構想に掲げた将来像に対する効果・影響はどうか。事業効果の範囲が大きいのか。 | 事業実施主体が考える機能(役割)が、構想区域にとって妥当なものか。能力と機能が釣り合っているか。 | 将来の医療提供体制の実現に向け、早期着手が望まれる事業か。早期に取り組まないと影響が大きい事業か。 | 新規の取り組みか。独創性があるか。固定経費化していないか。 | 実施主体における事業実施能力はどうか。事業規模は適切か。 | | | |
| | | | | | 4点 | 4点 | 4点 | 4点 | 4点 | 4点 | 24点 | | |
| 1 | 地域医療構想基幹病院における医師不足に対する診療支援事業 | 南宇和郡医師会 | 16,776 | 年間 | 4点 | 4点 | 4点 | 4点 | 1点 | 4点 | 21点 | Ⅲ | 26 |
| 2 | 市立宇和島病院夜間救急への支援 | 宇和島医師会 | 8,784 | 年間 | 4点 | 4点 | 4点 | 4点 | 1点 | 4点 | 21点 | Ⅲ | 26 |
| 3 | 在宅緩和ケア推進モデル事業 | 宇和島医師会 | 4,500 | 年間 | 3点 | 4点 | 4点 | 3点 | 3点 | 4点 | 21点 | Ⅱ | 9 |
| 4 | あいなん在宅あんしんシステムの構築 | 南宇和郡医師会 | 7,185 | 年間 | 3点 | 4点 | 4点 | 3点 | 3点 | 4点 | 21点 | Ⅱ | 7 |
| 5 | 病床機能分化推進事業(車両整備) | 市立宇和島病院 | 4,469 | 年間 | 3点 | 3点 | 4点 | 4点 | 3点 | 4点 | 21点 | Ⅲ | 54 |
| 6 | 療養環境整備事業(車両整備) | 市立津島病院 | 1,017 | 年間 | 3点 | 3点 | 4点 | 4点 | 1点 | 4点 | 19点 | Ⅱ | — |
| 7 | あいなん在宅あんしんシステムの構築にかかる人件費 | 南宇和郡医師会 | 9,600 | 年間 | 3点 | 3点 | 3点 | 4点 | 3点 | 3点 | 19点 | Ⅱ | 7 |

【注意事項】

- ・Ⅰ～Ⅲの事業区分ごとに評価し、それぞれ別様とすること。
- ・調整会議において適当とした事業の事業計画書その他関係書類を添付すること。(不適とした事業の事業計画書等その他関係書類は添付しない。)

平成30年度地域医療介護総合確保基金 事業計画書（ソフト事業用）

1. 要望者

| | | | |
|---------|-------------------|--------------------------|------------------|
| 住所 | 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲1988 | | |
| 団体(施設)名 | 一般社団法人南宇和郡医師会 | 構想区域 | 宇和島 |
| 担当者 | 所属 | 南宇和郡医師会 | |
| | 職名 | 会長 | 氏名 伊藤 孝徳 |
| 連絡先 | TEL | 0895-73-1198 | FAX 0895-73-1198 |
| | e-mail | minamiuwa@pure.ocn.ne.jp | |

2. 事業内容

| | | | | | |
|------------------------|------------------------------|--|--|----------|--|
| 事業名 | 地域医療構想基幹病院における医師不足に対する診療支援事業 | | | | |
| 実施主体 | 南宇和郡医師会 | | | | |
| 対象区域 | 宇和島 | 構想区域 | | | |
| 事業区分 | (大項目) | Ⅲ | 医療従事者等の確保・養成のための事業 | | |
| | (中項目) | 26 | 医師不足地域の医療機関への医師派遣体制の構築 | | |
| 取組内容 | 総実施期間における取組み | | | | |
| | 平成30年度の取組み | 郡内医療機関の医師が、県立南宇和病院へ出向し、診療支援、宿直、休日当番、急患コーナー（平成27年度より）に出務する。県立南宇和病院からも、上記支援の継続を強く望まれている。 | | | |
| 事業期間 | 総実施期間 | H 30 年 4 月 ~ H 31 年 3 月 | | | |
| | 上記総実施期間における年度別実施計画 | 年度(時期) | 取組内容 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 事業費 | 総事業費 | 16,776,000 円（総実施期間内における事業費） | | | |
| | 年度別事業費 | 年度 | 金額 | 備考 | |
| | | | | 千円 | |
| | | | | 千円 | |
| | | | | 千円 | |
| | | | | 千円 | |
| | 平成30年度事業費 | 費目 | 金額 | 積算根拠 | |
| | | 医師派遣費用 | 16,776,000 円 | 平成28年度実績 | |
| | | | | 円 | |
| | | | | 円 | |
| 合計 | | 16,776,000 円 | | | |
| 構想区域内における事業者が担う医療機能・役割 | 現状(要望時点) | 急性期 | 【具体的役割・機能】 地域包括医療、地域医療構想基幹病院として南宇和郡唯一の総合病院である県立南宇和病院の医師は、定員22人に対し常勤10人であり、医師不足が生じている。 | | |
| | 将来(2025年) | 急性期 | 【具体的役割・機能】 県立病院の医師が充足し、地域包括医療、地域医療構想の基幹病院として機能する。 | | |

※記載するスペースが足りない場合は行の追加や高さの変更などを行い、可能な限り具体的に記載すること。

3. 事業効果等

(1) 事業効果

(当該事業の目的や効果、当該事業により実現したい将来像は何か。)

地域医療構想基幹病院である県立南宇和病院の医師不足が解消されるまでの間、地域医療の存続維持を図る。

(2) 当該事業による将来の医療機能（役割）の実現性

(当該事業が、上記2の「構想区域内における事業者が担う医療機能・役割」を実現するためにどのような効果があるか。事業者や関係者に対してどのような効果・影響があるか。)

県立南宇和病院は、年間4352人（平成28年度）の急患を受け入れているが、医師不足によりこの受け入れ態勢が崩れ、その急患患者が市立宇和島病院へ流れれば、ギリギリの状態で食いとどまっている宇和島圏域の救急業務の破綻を招き、ひいては医療構想自体の崩壊を招くおそれがある。そのため、当該事業により、南宇和郡内の救急業務の維持・継続を図る。これは、市立宇和島病院からも強く求められているところである。

(3) 当該事業の構想区域における将来の医療提供体制に対する効果・影響

(当該事業が、構想区域の将来の医療提供体制に対してどのような効果・影響があるか。)

地域包括医療、地域構想基幹病院としても県立南宇和病院の存続維持。

(4) 地域医療構想との関連性

(当該事業が、愛媛県地域医療構想のどこにどのように位置づけられているか。)

上記（2）のように、本事業が宇和島圏域の救急医療、地域医療構想の崩壊を防いでいる。また、南宇和郡内の地域包括医療構想の中心的存在として県立南宇和病院を存続維持させる必要がある。

※記載するスペースが足りない場合は行の追加や高さの変更などを行い、可能な限り具体的に記載すること。

4. その他

※継続事業における事業期間の考え方や在宅医療・介護連携推進事業（介護保険の地域支援事業）との関係など特筆すべきことがあれば記載すること。

平成29年4月より県立南宇和病院に地域包括医療センター長として村上医師が赴任し、計画、立案作成中である。

平成30年度地域医療介護総合確保基金 事業計画書（ソフト事業用）

1. 要望者

| | | | |
|---------|----------------|--------------------------|------------------|
| 住所 | 愛媛県宇和島市桜町1番50号 | | |
| 団体(施設)名 | 一般社団法人 宇和島医師会 | 構想区域 | 宇和島 |
| 担当者 | 所属 | 一般社団法人 宇和島医師会 | |
| | 職名 | 会長 | 氏名 友松 孝 |
| 連絡先 | TEL | 0895-22-0161 | FAX 0895-25-8382 |
| | e-mail | uishikai@eagle.ocn.ne.jp | |

2. 事業内容

| | | | | | |
|------------------------|--------------------|---|--|-----------------------------|--|
| 事業名 | 市立宇和島病院夜間救急への支援 | | | | |
| 実施主体 | 一般社団法人 宇和島医師会 | | | | |
| 対象区域 | 宇和島 | 構想区域 | | | |
| 事業区分 | (大項目) | Ⅲ | 医療従事者等の確保・養成のための事業 | | |
| | (中項目) | 26 | 医師不足地域の医療機関への医師派遣体制の構築 | | |
| 取組内容 | 総実施期間における取組み | | | | |
| | 平成30年度の取組み | 宇和島医師会員が1年間を通して、月～金曜日の午後7時30分～午後10時30分の間市立宇和島病院救命救急センター(内科)へ出向し一次救急の患者を診察する | | | |
| 事業期間 | 総実施期間 | H 30 年 4 月 ~ H 31 年 3 月 | | | |
| | 上記総実施期間における年度別実施計画 | 年度(時期) | 取組内容 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 事業費 | 総事業費 | 8,784,000 円 (総実施期間内における事業費) | | | |
| | 年度別事業費 | 年度 | 金額 | 備考 | |
| | | | | 千円 | |
| | | | | 千円 | |
| | | | | 千円 | |
| | | | | 千円 | |
| | 平成30年度事業費 | 費目 | 金額 | 積算根拠 | |
| | | 人件費等 | 8,784,000 円 | 1病院×244人×36,000円=8,784,000円 | |
| | | | | 円 | |
| | | | | 円 | |
| | | | 円 | | |
| | 合計 | 8,784,000 円 | | | |
| 構想区域内における事業者が担う医療機能・役割 | 現状(要望時点) | 高度急性期 | 【具体的役割・機能】 市立宇和島病院の救命救急センターは、365日、24時間一次～三次救急すべての患者を診るので医師の負担が大きい | | |
| | 将来(2025年) | 高度急性期 | 【具体的役割・機能】 開業医が一次救急の数時間を担当する事により市立宇和島病院勤務医の負担が軽減し将来の急性期医療の維持に繋がる | | |

※記載するスペースが足りない場合は行の追加や高さの変更などを行い、可能な限り具体的に記載すること。

3. 事業効果等

(1) 事業効果

(当該事業の目的や効果、当該事業により実現したい将来像は何か。)

市立宇和島病院救命救急センターは、365日、24時間、常に対応することを基本としている。昼夜を問わず、一次・二次・三次救急の患者が南予一円から来院するため、医師の負担・疲弊はかなり大きい。開業医が少しでも手伝うことにより病院医師の負担を軽減し、病診連携を深めることができる。

(2) 当該事業による将来の医療機能（役割）の実現性

(当該事業が、上記2の「構想区域内における事業者が担う医療機能・役割」を実現するためにどのような効果があるか。事業者や関係者に対してどのような効果・影響があるか。)

市立宇和島病院は高度急性期、急性期の病院であるが、夜間の急性期機能の一部を開業医が担い診療に加わる事により、救急医療に対する義務・責任を感じるとともに、市立宇和島病院の医師を少し休ませることができる。

(3) 当該事業の構想区域における将来の医療提供体制に対する効果・影響

(当該事業が、構想区域の将来の医療提供体制に対してどのような効果・影響があるか。)

高齢者の増加などにより救命救急センターに搬送される患者は年々増加し、救急医療を取り巻く環境は年々大変厳しくなっている。この宇和島地区では医師不足もあり将来の救急医療を支え切れなくなる可能性もある。将来に渡って宇和島医師会が市立宇和島病院の救急医療支援を進めることにより宇和島地区の救急医療体制を維持していくことができる。

(4) 地域医療構想との関連性

(当該事業が、愛媛県地域医療構想のどこにどのように位置づけられているか。)

愛媛県西南地域の高度急性期、急性期の受け皿である市立宇和島病院の救命救急センターが十分に確実に機能を果たしていく必要がある。勤務医が疲弊して救急医療が困難になっては市民・県民の命が守れなくなる。開業医が急性期医療も務めることにより、宇和島南予地域の地域医療構想が成り立つ。

※記載するスペースが足りない場合は行の追加や高さの変更などを行い、可能な限り具体的に記載すること。

4. その他

※継続事業における事業期間の考え方や在宅医療・介護連携推進事業（介護保険の地域支援事業）との関係など特筆すべきことがあれば記載すること。

市立宇和島病院の急性期医療を今後も長期に渡って継続していくための必要な事業

平成30年度地域医療介護総合確保基金 事業計画書（ソフト事業用）

1. 要望者

| | | | |
|---------|----------------|--------------------------|------------------|
| 住所 | 愛媛県宇和島市桜町1番50号 | | |
| 団体(施設)名 | 一般社団法人 宇和島医師会 | 構想区域 | 宇和島 |
| 担当者 | 所属 | 一般社団法人 宇和島医師会 | |
| | 職名 | 会長 | 氏名 友松 孝 |
| 連絡先 | TEL | 0895-22-0161 | FAX 0895-25-8382 |
| | e-mail | uishikai@eagle.ocn.ne.jp | |

2. 事業内容

| | | | | |
|------------------------|--------------------|--|---|---------------------------------|
| 事業名 | 在宅緩和ケア推進モデル事業 | | | |
| 実施主体 | 一般社団法人 宇和島医師会 | | | |
| 対象区域 | 宇和島 | 構想区域 | | |
| 事業区分 | (大項目) | Ⅱ | 在宅医療・介護サービスの充実のために必要な事業 | |
| | (中項目) | 9 | 在宅医療推進協議会の設置・運営 | |
| 取組内容 | 総実施期間における取組み | | | |
| | 平成30年度の取組み | 毎月、在宅医療・在宅緩和ケア・訪問看護・医療介護連携の研修会・委員会を開催する。 在宅医療に対する市民への普及啓発活動を行う。 在宅医療、在宅緩和ケアに対するモデル事業を継続して行い、人材の育成、各職種のレベルアップを計る。 | | |
| 事業期間 | 総実施期間 | H 30 年 4 月 ~ H 31 年 3 月 | | |
| | 上記総実施期間における年度別実施計画 | 年度(時期) | 取組内容 | |
| | | | | |
| | | | | |
| 事業費 | 総事業費 | 4,500,000 円 (総実施期間内における事業費) | | |
| | 年度別事業費 | 年度 | 金額 | 備考 |
| | | | | 千円 |
| | | | | 千円 |
| | | | | 千円 |
| | | | | 千円 |
| | 平成30年度事業費 | 費目 | 金額 | 積算根拠 |
| | | 人件費等 | 4,056,000 円 | 参加者手当330万円、交通費75万6千円 |
| | | 研修費 | 280,000 円 | 講演会講師謝礼(交通費込) |
| | | 印刷製本費 | 93,960 円 | コピー代一式29,160円、パンフレット等印刷代64,800円 |
| 消耗品 | | 54,000 円 | コピー用紙等文具代 | |
| 通信運搬費 | | 15,840 円 | 資料郵送代 | |
| 合計 | 4,499,800 円 | | | |
| 構想区域内における事業者が担う医療機能・役割 | 現状(要望時点) | 慢性期 | 【具体的役割・機能】 入院中の患者で在宅に移せる患者は多数いる | |
| | 将来(2025年) | 在宅医療等 | 【具体的役割・機能】 在宅医療、訪問看護を積極的に行うことにより在宅の患者を増やしていく | |

※記載するスペースが足りない場合は行の追加や高さの変更などを行い、可能な限り具体的に記載すること。

3. 事業効果等

(1) 事業効果

(当該事業の目的や効果、当該事業により実現したい将来像は何か。)

- (1) 在宅医療の整備
- (2) 在宅医療に係るすべての職種の連携体制の支援
- (3) 在宅医療推進会議、緩和ケア会議の運営
- (4) 在宅医療の人材育成のための研修の実施

(2) 当該事業による将来の医療機能（役割）の実現性

(当該事業が、上記2の「構想区域内における事業者が担う医療機能・役割」を実現するためにどのような効果があるか。事業者や関係者に対してどのような効果・影響があるか。)

在宅医療、緩和ケア事業を発展させることにより、当地域内における医師・訪問看護師、ケアマネの質を高め、更に他の職種との連携により在宅の患者を支え見守り、患者、家族に対して安心を与えることができる。

(3) 当該事業の構想区域における将来の医療提供体制に対する効果・影響

(当該事業が、構想区域の将来の医療提供体制に対してどのような効果・影響があるか。)

この10～20年にかけて高齢者が増加し、病気になる人、亡くなる人が増えてくる。今後、地域医療構想により病床が減っていく中、病院・有床診療所での療養・看取りは難しくなり、自宅や施設での在宅医療・看取りが必要になってくる。回復期、慢性期の病床の患者が在宅で安心して過ごせるように、治し支える医療を実践できる。

(4) 地域医療構想との関連性

(当該事業が、愛媛県地域医療構想のどこにどのように位置づけられているか。)

愛媛県地域医療構想では、慢性期病床が過剰となり、その入院患者を在宅へ移す必要がある。この事業を行うことにより慢性期病床の患者を減らし、在宅医療へ移せる患者を増やすことができる。

※記載するスペースが足りない場合は行の追加や高さの変更などを行い、可能な限り具体的に記載すること。

4. その他

※継続事業における事業期間の考え方や在宅医療・介護連携推進事業（介護保険の地域支援事業）との関係など特筆すべきことがあれば記載すること。

在宅医療に関しては4年前から、在宅緩和ケアについては1年前より活動を行っているが、それぞれの職種において関心・意欲も高まり良い方向に向かっていると思われる。これからは市民への啓発活動が重要である。

施設・設備整備事業計画書（ハード事業用）

| | |
|-----|-------------------|
| 事業名 | あいなん在宅あんしんシステムの構築 |
|-----|-------------------|

| | |
|------|--------|
| 計画年度 | 平成30年度 |
|------|--------|

| | | |
|---------|-------------------|-------------------|
| 開設者名 | 施設名 | 所在地 |
| 南宇和郡医師会 | 老健なんぐん館訪問看護ステーション | 愛媛県南宇和郡愛南町深泥703-2 |

1. 医療施設の概要

| 許可病床数（平成 年 月 日現在） | | | | | | | |
|---|------|-----------------------|-----|----|---|---------|---------|
| 一般 | 療養病床 | 精神 | 感染症 | 結核 | 計 | （うちICU） | （うちCCU） |
| 床 | 床 | 床 | 床 | 床 | 床 | 床 | 床 |
| 標 榜 診 療 科 名 | | | | | | | |
| 内科・心療内科・精神科・神経科・呼吸器科・消化器科・循環器科・アレルギー科・リウマチ科・小児科・外科・整形外科・形成外科・美容外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚泌尿器科・性病科・こう門科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・気管食道科・リハビリテーション科・放射線科・歯科・その他（ ） | | | | | | | |
| 一日平均外来患者数 | | 名（平成 年4月1日～平成 年3月31日） | | | | | |
| 一日平均入院患者数 | | 名（平成 年4月1日～平成 年3月31日） | | | | | |

（今回の施設整備、設備整備またはシステム導入の経緯）

南宇和郡には、人員確保の困難及び経営的不安から、24時間訪問介護を行う施設が存在しない。そこで、本事業により24時間訪問介護に代替するシステムを構築し、郡内の在宅療養者に適切な介護を提供する。

具体的には、本事業は、在宅療養者がテレビ電話システムを介して、療養担当者と顔を合わせて会話することができる体制を整えるものである。担当者は、症状を確認の上、必要に応じて担当者を派遣することができる。このような24時間体制かつワンタッチで利用できるシステムを提供することにより、施設を建設するより比較的軽微な費用で、在宅療養者が見守られているという安心を持てる体制を作ることができる。

2. 整備事業の概要

NTT ネットワークシステムを利用し、老健なんぐん館訪問看護ステーションと在宅療養者の間をテレビ電話の専用回線で結ぶ。テレビ電話機は、回線の「入」「切」、操作がワンタッチで簡単にできる専用機（みまもり安心バック）を利用する。

在宅療養者は24時間いつでも担当者と回線を通じて話すことが可能であり、必要があればいつでも担当者が駆けつけることが可能となる。これにより、24時間在宅介護施設の代替を行う。

3. 今後の構想（未確定のもので可）

南宇和郡（愛南町）では、平成29年4月より、多職種連携のツールとしてITを活用した「愛南多職種ネットワーク」（バイタルリンク帝人ファーマ）が稼働しており、多職種で在宅療養者の状態を、パソコン、スマホ、タブレット等で閲覧、書き込みをすることが可能である。

また、将来的には、あいなん在宅安心システムの対象を郡内すべての在宅療養者に拡大し、24時間訪問介護看護施設の代替を行いたい。

※見積書、概要図（ネットワーク図）、その他参考資料を適宜添付し、施設毎に作成願います。

事業計画書
(設備)

補助事業者名 一般社団法人南宇和郡医師会
病院名

| 品目 | 数量 | 製造会社 | 規格・型式 | 税抜定価 | 税込見積額 | 用途 | 理由 |
|------------------|------|------|----------------------------------|-----------|-----------|-----------------|----|
| 24ポ-トGIGAスイッチ | 1台 | 日本HP | HP1820-24G | 54,000 | 46,440 | なんぐん館施設内用 | |
| 8ポ-トGIGAスイッチ | 2台 | 日本HP | HP1820-8G | 54,000 | 46,440 | なんぐん館施設内用 | |
| 無線アクセスポイント | 5台 | ヤマハ | WEX202 | 190,000 | 162,000 | なんぐん館施設内用 | |
| PoEインジェクター | 5台 | エレコム | R1B-UG01-PF | 38,000 | 35,100 | 無線アクセスポイント電源供給用 | |
| Cat-5cケーブル(屋内用) | 560m | 日本製線 | 0.5-4P NSEDT | 36,400 | 30,240 | なんぐん館施設内用 | |
| Cat-5eケーブル(屋外用) | 80m | 日本製線 | 0.5-4P NSEDT LAP | 15,200 | 14,774 | なんぐん館施設内用 | |
| 施設内配線工事費 | 1式 | | | 420,000 | 388,800 | なんぐん館施設内用 | |
| 施設内機器設定費 | 1式 | | | 180,000 | 151,200 | なんぐん館施設内用 | |
| 施設内機器設置調整費 | 1式 | | | 110,000 | 97,200 | なんぐん館施設内用 | |
| 光BOX+ (Livytalk) | 2式 | NTT | Web45, 光BOX+ (20ヶ所), 光BOX+ (4ヶ所) | 57,162 | 61,735 | なんぐん館用 | |
| 同上機器設定工事費 | 2式 | | | 40,000 | 43,200 | なんぐん館用 | |
| タブレットPC | 3式 | NEC | TE510/BAL | 101,400 | 97,200 | なんぐん館用 | |
| タブレットPCインストール費 | 3式 | | | 12,000 | 12,960 | なんぐん館用 | |
| みまもり電話パック | 100式 | NTT | Web45, 450円/月-10ヶ所, 光BOX+ (4ヶ所) | 3,888,000 | 4,199,040 | 利用者宅用 | |
| 同上機器設定工事費 | 100式 | | | 1,650,000 | 1,782,000 | 利用者宅用 | |
| NTTフレッツ工事費 | 1式 | | | 16,300 | 17,604 | | |
| 合計 | | | | 6,862,462 | 7,185,933 | | |

施設・設備整備事業計画書（ハード事業用）

| | |
|-----|------------|
| 事業名 | 病床機能分化推進事業 |
|-----|------------|

| | |
|------|--------|
| 計画年度 | 平成30年度 |
|------|--------|

| | | |
|-------|---------|----------------|
| 開設者名 | 施設名 | 所在地 |
| 石橋 寛久 | 市立宇和島病院 | 愛媛県宇和島市御殿町1番1号 |

1. 医療施設の概要

| 許可病床数（平成29年4月1日現在） | | | | | | | |
|--------------------|------|----|-----|----|------|---------|---------|
| 一般 | 療養病床 | 精神 | 感染症 | 結核 | 計 | （うちICU） | （うちCCU） |
| 426床 | 床 | 床 | 5床 | 4床 | 435床 | 4床 | 2床 |

標榜診療科名

内科・心療内科・精神科・神経科・呼吸器科・消化器科・循環器科・アレルギー科・リウマチ科・小児科・外科・整形外科・形成外科・美容外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚泌尿器科・性病科・こう門科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・気管食道科・リハビリテーション科・放射線科・歯科・その他（胃腸内科、肝臓内科、血液内科、糖尿病内科、内分泌内科、肝臓・胆のう・膵臓外科、消化器外科、乳腺外科、頭頸部外科、肛門外科、脳・血管外科、麻酔科、臨床検査科、病理診断科）

一日平均外来患者数 1,035.7名（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

一日平均入院患者数 400.9名（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（今回の施設整備、設備整備またはシステム導入の経緯）

当院は南予圏域における拠点病院としての役割に加え、南予救命救急センター併設病院として多くの救急患者を受け入れています。

愛媛県地域医療構想（平成28年3月策定）では、2025年に向けて病床の機能分化・連携が促されており、当圏域に関しては“高度急性期病床の不足（▲100床）”が指摘されるなど、当院としても、これまで以上に高度急性期・急性期医療を軸とした病院運営を目指す必要があると考えています。

そのため、当事業を活用し、病状の安定した患者を回復期病院等への転院搬送が可能な車両を整備し、病院の機能分化や病院連携を積極的に進めようとするものです。

2. 整備事業の概要

救急患者に対して必要な処置を施したあと、病状が安定した患者に関しては回復期病院等への転院搬送が可能な車両を購入しようとするものです。

3. 今後の構想（未確定のもので可）

愛媛県地域医療構想（平成28年3月策定）に示された医療提供体制の早期実現に向けて、これまで以上に高度急性期・急性期医療を軸とした病院運営を目指す必要があると考えています。

※見積書、概要図（ネットワーク図）、その他参考資料を適宜添付し、施設毎に作成願います。

事業計画書
(設備)

補助事業者名 市立宇和高病院
病 院 名 市立宇和高病院

| 品 目 | 数 量 | 製 造 会 社 | 規 格 ・ 型 式 | 税 抜 定 価 | 税 込 見 積 額 | 用 途 | 理 由 |
|-----|-----|---------|--------------------------|----------------|----------------|-------|------------------------------|
| 車両 | 1台 | 栃日産自動車 | NV350キャラバン (チエアキヤブ仕機) | 4,150,218 円 | 4,468,083 円 | 患者搬送用 | 一般車両では困難なストレッチャーでの搬送が可能であるため |
| 合 計 | 1台 | | | 4,150,218 | 4,468,083 | | |

施設・設備整備事業計画書（ハード事業用）

| | |
|-----|----------|
| 事業名 | 療養環境整備事業 |
|-----|----------|

| | |
|------|--------|
| 計画年度 | 平成30年度 |
|------|--------|

| | | |
|-------------|-----------|------------------|
| 開設者名 | 施設名 | 所在地 |
| 宇和島市長 石橋 寛久 | 宇和島市立津島病院 | 宇和島市津島町高田丙 15 番地 |

1. 医療施設の概要

| 許可病床数（平成 年 月 日現在） | | | | | | | |
|--|------|----|-----|----|-------|----------|----------|
| 一般 | 療養病床 | 精神 | 感染症 | 結核 | 計 | （うち ICU） | （うち CCU） |
| 88 床 | 45 床 | 床 | 床 | 床 | 133 床 | 床 | 床 |
| 標榜診療科名 | | | | | | | |
| 内科・心療内科・精神科・神経科・呼吸器科・消化器科・循環器科・アレルギー科・リウマチ科・小児科・外科・整形外科・形成外科・美容外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚科・泌尿器科・性病科・こう門科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・気管食道科・リハビリテーション科・放射線科・歯科・その他（神経内科） | | | | | | | |
| 一日平均外来患者数 163.9 名（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日） | | | | | | | |
| 一日平均入院患者数 83.7 名（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日） | | | | | | | |
| （今回の施設整備、設備整備またはシステム導入の経緯） | | | | | | | |
| 現在、当院では訪問リハビリを実施しており、車両等の環境整備により体制の充実を図るため、軽自動車を購入するもの。 | | | | | | | |

2. 整備事業の概要

| |
|-----------------------|
| 訪問リハビリの際に使用する軽自動車の購入。 |
|-----------------------|

3. 今後の構想（未確定のもので可）

| |
|---|
| 訪問先には山間部や海沿いにある住宅が多く、狭路等でも機動性があり天候に左右されない運動性をもつ軽自動車を購入・活用することで、充実・安定した訪問看護を実施することができます。 |
|---|

※見積書、概要図（ネットワーク図）、その他参考資料を適宜添付し、施設毎に作成願います。

事業計画書

(設備)

補助事業者名 宇和島市立津島病院
病 院 名 宇和島市立津島病院

| 品目 | 数量 | 製造会社 | 規格・型式 | 税抜定価 円 | 税込見積額 円 | 用途 | 理由 |
|------|----|-------------|------------|-----------|------------|---------|---------------|
| 軽自動車 | 1 | スズキ 株式会社 | 排気量660cc以下 | 944,865 | 1,016,818 | 訪問リハビリ用 | 訪問リハビリ時の職員移動用 |
| 合計 | | | | 944,865 | 1,016,818 | | |

平成30年度地域医療介護総合確保基金 事業計画書 (ソフト事業用)

1. 要望者

| | | | |
|---------|-------------------|--------------------------|------------------|
| 住所 | 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲1988 | | |
| 団体(施設)名 | 一般社団法人南宇和郡医師会 | 構想区域 | 宇和島 |
| 担当者 | 所属 | 南宇和郡医師会 | |
| | 職名 | 会長 | 氏名 伊藤 孝徳 |
| 連絡先 | TEL | 0895-73-1198 | FAX 0895-73-1198 |
| | e-mail | minamiuwa@pure.ocn.ne.jp | |

2. 事業内容

| | | | | |
|------------------------|--------------------------|--|--|----------------|
| 事業名 | あいなん在宅あんしんシステムの構築にかかる人件費 | | | |
| 実施主体 | 南宇和郡医師会 | | | |
| 対象区域 | 宇和島 | 構想区域 | | |
| 事業区分 | (大項目) | Ⅱ | 在宅医療・介護サービスの充実のために必要な事業 | |
| | (中項目) | 7 | 在宅医療の実施に係る拠点の整備 | |
| 取組内容 | 総実施期間における取組み | | | |
| | 平成30年度の取組み | ハード事業として申請しているあいなん在宅あんしんシステムの維持。 在宅療養者と担当者をテレビ電話システムで繋ぐ「あいなん在宅あんしんシステム」の運用のために必要な訪問看護ステーションの夜間担当要員の人件費。 | | |
| 事業期間 | 総実施期間 | H 30 年 4 月 ~ H 31 年 3 月 | | |
| | 上記総実施期間における年度別実施計画 | 年度(時期) | 取組内容 | |
| | | | | |
| | | | | |
| 事業費 | 総事業費 | 9,600,000 円 (総実施期間内における事業費) | | |
| | 年度別事業費 | 年度 | 金額 | 備考 |
| | | | 千円 | |
| | | | 千円 | |
| | | | 千円 | |
| | | | 千円 | |
| | 平成30年度事業費 | 費目 | 金額 | 積算根拠 |
| | | 人件費 | 9,600,000 円 | 月額20万円×4人×12ヵ月 |
| | | 円 | | |
| | | 円 | | |
| | 合計 | 9,600,000 円 | | |
| 構想区域内における事業者が担う医療機能・役割 | 現状(要望時点) | 在宅医療等 | 【具体的役割・機能】 南宇和郡内には、24時間訪問看護介護を行う施設が存在しない。 | |
| | 将来(2025年) | 在宅医療等 | 【具体的役割・機能】 本事業により、24時間訪問看護介護を代替する。 | |

※記載するスペースが足りない場合は行の追加や高さの変更などを行い、可能な限り具体的に記載すること。

3. 事業効果等

| |
|---|
| <p>(1) 事業効果 (当該事業の目的や効果、当該事業により実現したい将来像は何か。)</p> <p>NTTのネットワークシステムを利用し、老健なんぐん館訪問看護ステーションと在宅療養者の間をテレビ電話の専用回線で結ぶ。テレビ電話機は、回線の「入」「切」、操作がワンタッチで簡単にできる専用機（みまもり安心パック）を利用する。 在宅療養者は24時間いつでも担当者と回線を通じて話すことが可能であり、必要があればいつでも担当者が駆けつけることが可能となる。これにより、24時間在宅介護施設の代替を行う。</p> |
| <p>(2) 当該事業による将来の医療機能（役割）の実現性 (当該事業が、上記2の「構想区域内における事業者が担う医療機能・役割」を実現するためにどのような効果があるか。事業者や関係者に対してどのような効果・影響があるか。)</p> <p>本事業は、在宅療養者がテレビ電話システムを介して、療養担当者と顔を合わせて会話することができる体制を整えるものである。担当者は、症状を確認の上、必要に応じて担当者を派遣することができる。</p> |
| <p>(3) 当該事業の構想区域における将来の医療提供体制に対する効果・影響 (当該事業が、構想区域の将来の医療提供体制に対してどのような効果・影響があるか。)</p> <p>24時間体制かつワンタッチで利用できるシステムを提供することにより、施設を建設するより比較的軽微な費用で、在宅療養者が見守られているという安心を持てる体制を作ることができる。</p> |
| <p>(4) 地域医療構想との関連性 (当該事業が、愛媛県地域医療構想のどこにどのように位置づけられているか。)</p> <p>将来的には、あいなん在宅安心システムの対象を郡内すべての在宅療養者に拡大し、24時間訪問介護看護施設の代替を行いたい。</p> |

※記載するスペースが足りない場合は行の追加や高さの変更などを行い、可能な限り具体的に記載すること。

4. その他

| |
|--|
| <p>※継続事業における事業期間の考え方や在宅医療・介護連携推進事業（介護保険の地域支援事業）との関係など特筆すべきことがあれば記載すること。</p> <p>南宇和郡（愛南町）では、平成29年4月より、多職種連携のツールとして、ITを活用した「あいなん多職種ネットワーク」（パイタルリンク、帝人ファーマ）が稼働しており、多職種で在宅療養者の状態を、パソコン、スマホ、タブレット等で閲覧、書き込みが可能である。</p> |
|--|

(3) 宇和島構想区域の基金事業実施状況（平成26～28年度）

【基金交付概要】

| | 基金規模（全国） | 愛媛県 |
|--------|----------|--------|
| 平成26年度 | 903.7億円 | 8.4億円 |
| 平成27年度 | 903.7億円 | 20.5億円 |
| 平成28年度 | 903.7億円 | 20.6億円 |

*国費2/3、県費1/3

【基金実施事業】

事業区分

- I 病床の機能分化・連携のために必要な事業
- II 在宅医療・介護サービスの充実のために必要な事業
- III 医療従事者等の確保・養成のための事業

| 事業区分 | 要望事業 | 保健所 經由 | 事業主体 | H 2 6 | H 2 7 | H 2 8 |
|------|---|-----------|---------------------------|-------|-------|-------|
| 1 | I 愛媛県病床機能分化連携基盤整備事業 (ICTを活用した地域医療ネットワーク基盤整備事業(きさいやネット)) | ○ | 市立宇和島病院 | ↑ | | |
| 2 | II 在宅医療連携基盤整備事業 (訪問診療・訪問リハビリの体制整備のための車両購入) | ○ | 市立津島病院 | ↑ | | |
| 3 | II 在宅医療連携基盤整備事業 (訪問診療・訪問リハビリの体制整備のための車両購入) | ○ | 市立吉田病院 | ↑ | | |
| 4 | II 地域医療連携体制促進事業 (地域医療連携室等の新設・拡充に必要な人件費補助) | — | 愛媛県 (1市立病院) | ↑ | | |
| 5 | II 在宅歯科医療連携室整備事業 (在宅歯科診療連携室に必要な人件費等補助) | — | 愛媛県歯科医師会 (3郡市歯科医師会) | ↑ | ↑ | ↑ |
| 6 | III 地域医療体制確保医師派遣事業 (市立宇和島病院に対する診療支援) | ○ | 宇和島医師会 | ↑ | ↑ | ↑ |
| 7 | III 地域医療体制確保医師派遣事業 (県立南宇和病院に対する診療支援) | ○ | 南宇和郡医師会 | ↑ | ↑ | ↑ |
| 8 | III 小児救急医療支援事業 (小児救急医療の診療支援) | — | 市立宇和島病院 | ↑ | ↑ | ↑ |
| 9 | III 看護職員等養成支援事業 (看護師等養成所の運営費補助) | — | 看護師等養成施設 (宇和島看護専門学校) | ↑ | ↑ | ↑ |
| 10 | III 新人看護職員研修事業 (新人看護職員に対する研修経費補助) | — | 愛媛県 (公立病院、独立行政法人、医療法人) | ↑ | ↑ | ↑ |
| 11 | III 院内保育運営事業 (院内保育事業にかかる運営費補助) | — | 愛媛県 (1医療法人) | ↑ | ↑ | ↑ |
| 12 | III 医療クリニック養成支援事業 (勤務医・看護師勤務負担軽減事業(医療クリニック養成支援)) | ○ | 市立宇和島病院 | ↑ | ↑ | |
| 13 | III 広域救急医療体制構築事業 (救急患者搬送のためのシステム(タブレット)の運営費補助) | — | 消 防 (宇和島地区広域事務組合、愛南町) | | ↑ | ↑ |
| 14 | III 歯科医療従事者等人材養成事業 (歯科医療従事者等人材養成の支援) | — | 愛媛県歯科医師会 (2郡市歯科医師会) | | | ↑ |